

調査レポート

福井旅の体験手帖「ふくのね」参加者アンケートから見る 県外観光客の「福井観光」動向

調査概要

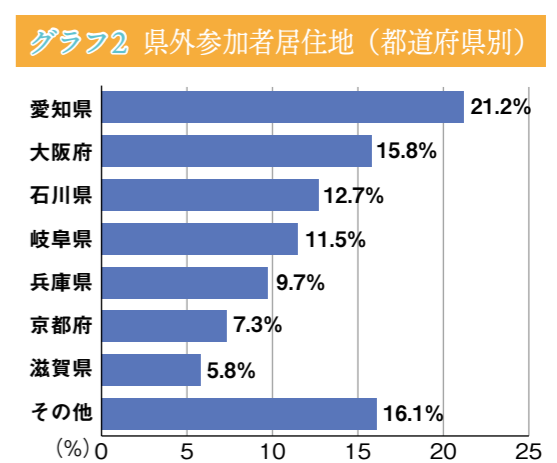
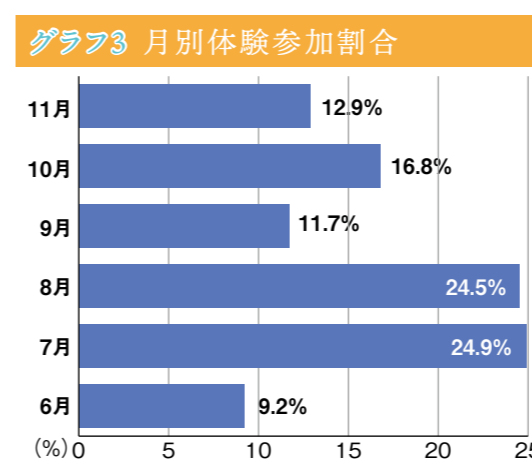
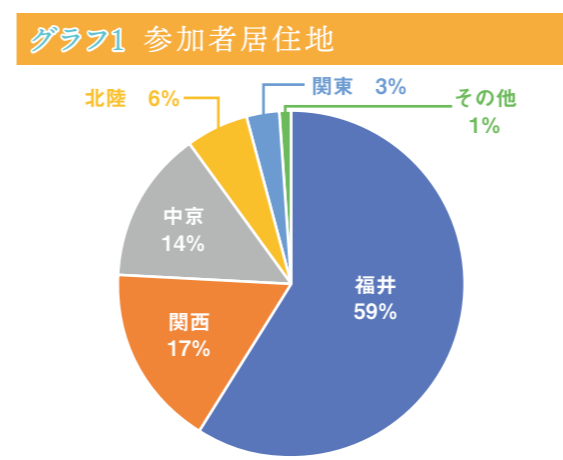
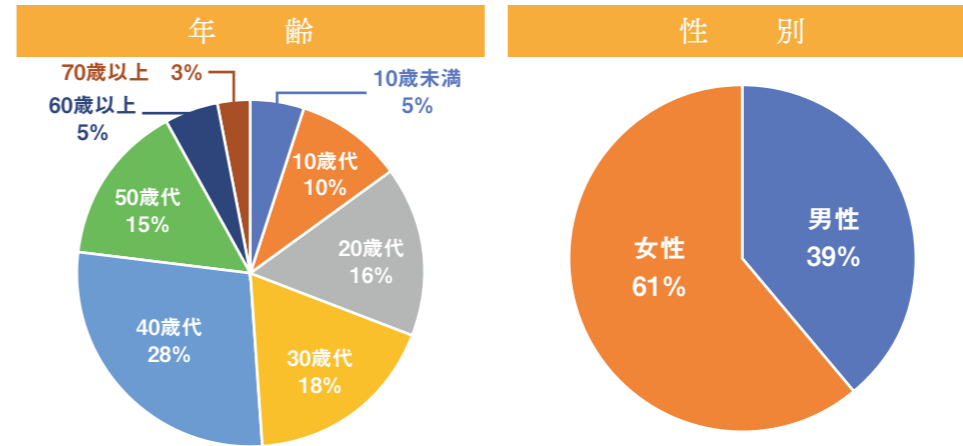
- 調査時期
令和3年6月1日～12月31日
- 調査方法
ふくのね体験者に体験後にアンケート回答を依頼。
- 回答数
844件

県外からの参加者について

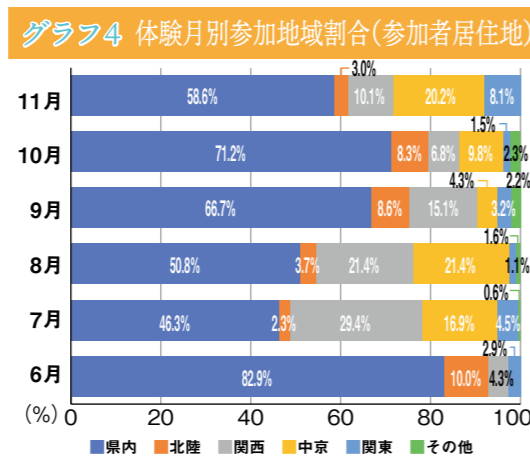
ふくのね体験参加者の居住地内訳は、福井県内が59%、県外が41%。コロナ禍の中、県をまたぐ移動に心理的制約が少なくない中、県外からの体験参加者も4割を超え、観光需要は高いことがわかった。地域別の内訳は関西圏が17%、中京圏が14%、北陸圏が6%と続いた(グラフ1)。都道府県別にみると愛知県から最も多く、県外参加者に占める割合は21.2%。次いで大阪府11.5%と続いた(グラフ2)。本県近隣の大都市圏と、県境を接する県からの参加者が多い結果となった。

体験参加時期について

ふくのね体験参加時期については、夏休み期間が最も多く、7月と8月の合計が49.4%、全体を通して約半数



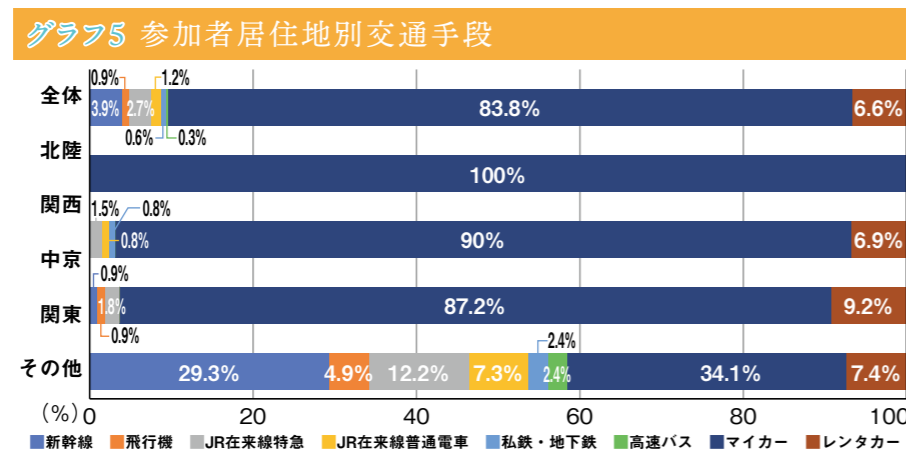
が夏休み期間の利用という結果となった。次いで秋の行楽シーズンが多く、10月が16.8%、11月が12.9%。(グラフ3) 地域別の参加割合を見ると夏休み期間は関西の参加者の割合が高く、秋の行楽シーズンでは中京圏からの参加割合が高かった。(グラフ4)



**参加者居住地別に見た
交通手段について**

福井県に来るまでに利用した交通手段について聞いたところ、マイカー利用が圧倒的に多く8割を超えた。レンタカー利用をあわせると9割以上が自動車を活用していた。地域別に見ると、関東地域からの交通手段が新幹線・飛

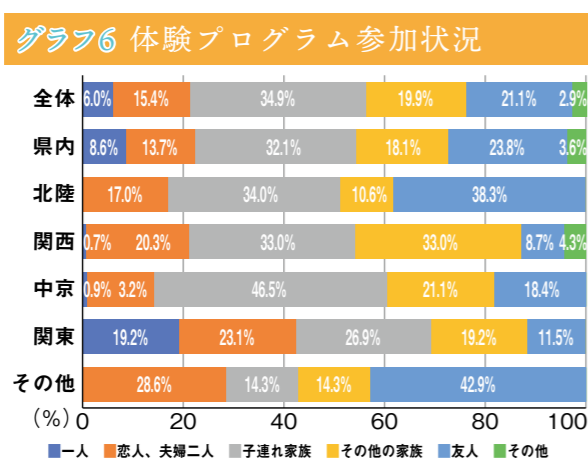
行機、高速バスと多種多様であるが、マイカー利用も3割を超えていた。また、関西より中京の方がレンタカー利用割合が高かった。(グラフ5)



参加形態(誰と参加したか)について

ふくのね体験プログラムを誰と参加

したかについて聞いたところ、「小学生以下の子供を連れた家族(子連れ家族)」が最も多く34.9%。「その他の家族」(19.9%)も含めると5割以上が家族で参加との結果となった。地域別に見ると「子連れ家族」の割合は中京地域が一番高く、46.5%。中京、関西、北陸では「一人」参加が1割にも満たないが、関東地域では19.2%と二人での参加割合が高い結果となった。(グラフ6)



お問合せ先
福井商工会議所 地域事業・観光振興課
0776(33)8253

お店が取り組む観光プログラム

旅の体験手帖「ふくのね」

北陸新幹線県内延伸に向け、県内の魅力的な体験スポットを発掘し、体験型プログラムとして造成。毎年2回、冊子にまとめて発刊。

最新号ふくのねVol.7は3月19日発刊。

体験プラン詳細はこちら→